



■ 障がいのあるお客様へのサポート

港南区は身体障害者の手帳交付数は、年々増加傾向にあります。私たちは、ラポール上大岡内フィットネスルームと連携し、障害のある方に不便なくトレーニングしていただけるよう、所属する初級障がい者スポーツ指導員がマシンやスペースに工夫を施し、継続的に運動ができる環境づくりを強化します。

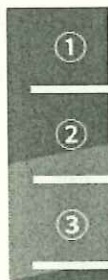


自転車用麻痺足固定バンド

(4) 元気な区民を増やすための広報と利用促進策

ア 港南スポーツセンター・プロモーション計画

「プロモーション」とは一般的に「販売促進」を意味します。私たちはこれを、港南スポーツセンターを認知していただき、運動意欲を喚起するための重要なアクションとして実施します。



① 誰にでも優しいインターネットでの情報提供

② 施設価値を丁寧に伝えられる媒体の使い分け

③ 組織力を生かしたパブリシティの活用

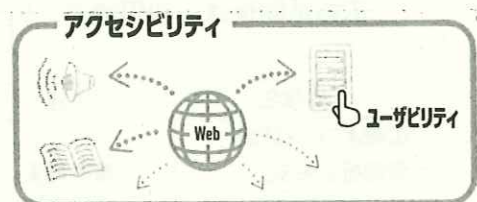
港南スポーツセンター
プロモーション
活動方針

■ ①誰にでも優しいインターネットでの情報発信

港南スポーツセンターのホームページは1日のアクセス数が700件以上あり、スマートフォンからのアクセスが5割弱となっています。twitterなどのSNSサイトには629件の方にご登録いただいています。

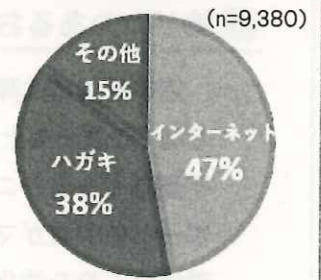
● ホームページをリニューアルします！

スポーツセンターのサービスの視覚化は来館ハードルを下げ、運動実施率を高めると考えます。誰もが見やすく、わかりやすい画面、動画を活用した最新のデザインにリニューアルします。スマートフォンなど端末サイトへの最適化や、高齢者・障がい者に配慮した横浜市ウェブサイトアクセシビリティ方針に沿ってデザインします。



● インターネット広告を強化します

インターネットでの広報を強化し、集客力を高めます。港南スポーツセンター教室申込数の約5割がインターネット経由です。これまで蓄積したマーケティングデータに加え、新たにホームページ解析ソフトで分析し、効果的な広告を行います。また、区内施設と連携し、相互バナーを掲載します。



教室参加者のお申込手段

● SNS・映像コンテンツを効果的に使います

昨年度、当団体が行ったスポーツセンター利用者調査（15施設）では、施設情報の取得手段として SNS を使うお客様が増加傾向にあり、SNS は映像コンテンツに適した情報発信ツールとして引き続き活用します。また、デジタルサイネージ導入やホームページでは家でできるストレッチなどを紹介し、運動の継続を促します。



休館時に配信したハマスボエクササイズ動画

■ ②多様な媒体を効果的に使い分けます

港南スポーツセンターの広報媒体は、顕在層（利用者）と潜在層（見込み客）の特性や対象年齢層、タイミングなどで適切に使い分けるなど、情報を効果的な形で配信し、認知を促していきます。

広告で使用する主な媒体	チラシ・ポスティング	港南区広報・回覧板	リーフレット
 ホームページ ・顕在層への販促ツール ・新規客に魅力を伝える	 SNS (twitter) ・顕在層への販促ツール ・潜在層へのアプローチ	 地元メディア (ケーブルテレビ等) 施設の認知度向上し、潜在層を増やすツール	 区内イベントでの施設PR 区民、近隣住民の方への理解促進・PRとして

● 年間広報計画

港南スポーツセンター広報担当者は、教室や事業に合わせた広報媒体を活用し、タイムリーな情報を発信します。計画的で切れ目のない広報活動を展開します。

広報活動後は、利用者アンケートやホームページ閲覧分析を用いて、効果測定を行います。

媒体名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報よこはま区版	教室募集 施設情報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新聞折込ちらし			●			●			●			●	
タウン誌(連載)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
区内小学校・幼稚園等				●					●			●	
市PRボックス	イベント情報 施設情報	→											
区内公共施設		→											



● **スポーツ情報コーナー**

市・区内の他施設情報やスポーツイベントなどの各種パンフレットやチラシをまとめたインフォメーションコーナーを引き続き設置します。ラックには、区内の子ども会や港南区シルバークラブ連合会、港南国際交流ラウンジなどの情報を設置します。



見やすく工夫したチラシラック

■ **③パブリシティ活動を積極的にを行います！**

当団体は、市民イベント・国際大会にて新聞各社、テレビ・ラジオ局などのマスコミと協力関係があります。イベント等のプレスリリースを積極的に行い、当館の存在を広くアピールしていきます。報道各社への情報提供には、直接の申し入れのほか、横浜市報道担当の方と協力し、市政記者発表の場を活用させていただきます。

記者発表とインターネットでのプレスリリース



インターネットニュースに掲載されました

東京2020オリンピック開会1000日前に千羽鶴を作ろう！ 10月28日 横浜市内36の会場を中心にイベントを開催



新聞掲載されました！(3社)

新聞掲載を盛り上げよう！ 5色の折り鶴で盛り上げよう！ 10月28日 横浜市内36の会場を中心にイベントを開催



たくさんのお客様にご来場いただきました！

● **74 加盟団体の組織力を活かします！**

当団体には 74 の競技スポーツ・地域スポーツ団体等が加盟しており、その強固な情報ネットワークがあります。当団体が主催する市民スポーツ委員会での広報活動やスポーツ情報サイト「ハマスポ」などの媒体で迅速かつ効果的にスポーツ情報を発信します。港南スポーツセンターでは、このネットワークを存分に活用して事業を展開します。



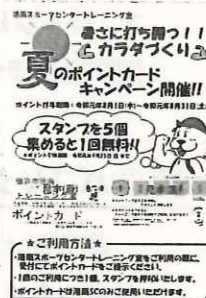
加盟団体代表者会議



イ 新たなお客様にお越しいただくために (①イベント型集客)

■ キャンペーン・タイアップ企画

夏季・冬季の利用者が減少する時期のキャンペーン企画として、個人利用のお客様にポイントカードを配布し、ポイント付与に応じた還元サービスを行います。また、令和7年には、開館45周年記念キャンペーンを企画し、港南スポーツセンターの賑わいを創出します。



ポイントカード

● 毎月5のつく日はシニア向け『濱ともカード優待 Day』

65歳以上の横浜市民に向けた優待サービスとして、横浜市健康福祉局が実施している「優待施設利用促進事業」に協力します。シニア世代の運動習慣は健康寿命の延伸に重要です。濱ともカード優待パンフレットに掲載し、ご利用のきっかけづくりとします。



濱ともカード

● ベイスターズ『YOKOHAMA STAR☆NIGHT』(見るスポーツ・支えるスポーツ)

港南スポーツセンタースタッフがベイスターズ「YOKOHAMA STAR☆NIGHT」限定のユニフォームを着用する盛り上げ企画です。ユニフォームは、横浜 DeNA ベイスターズから提供していただきます。地元のプロスポーツチームを区民一体となって応援し、「見る・観る・魅るスポーツ」を盛り上げます。



お客様・スタッフにも大好評の企画です!

■ 港南区内でのアウトリーチ活動

● 区内賑わいスポットへの出展

地元商店街や地元団体等とタイアップし、施設PR及び健康リテラシーを高めるイベントを定期的に行います。港南台バースでは、港南消防署主催の『救急フェスタ』で体力測定を行うなど、運動意識を高めるイベント出展を行います。



「救急フェスタ」に体力測定ブースを出店し、事業のPR

● 託児室をキッズステーションとして有効活用します!

港南スポーツセンター託児室では、子育てサークル活動、スポーツ大会、スポーツイベント等で有効活用することで、子育て世代の運動のきっかけづくりや交流の場とします。また、港南区子育て支援拠点「はっち」との交流を目的とした様々なイベントを開催し、今後のご利用のきっかけづくりとします。





■ 利用者還元イベント「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」

スポーツ・レクリエーションフェスティバル実行委員会主催の通称『スポレク』を日頃ご利用いただくお客様への謝恩企画として開催します。スポレクでは、普段開催する教室プログラムやトレーニング室の体験会を開催し、今後のご利用のきっかけづくりとします。



■ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシーイベント

東京 2020 オリンピック・パラリンピック会場となる横浜市にある施設として、大会終了後はレガシー事業を実施するなど、新たなお客様の来館動機を作ります。

※様式 15(p.94)に詳しく記載しています。

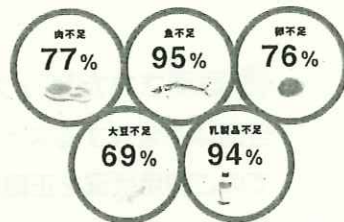
ウ 新たなお客様にお越しいただくためのご提案 (②運動不足解消！企業連携プログラム)

■ SPORS for ALL ～すべての人にスポーツを！～

スポーツ庁は「スポーツ無関心層」誘因策に取り組んでいます。私たちは、無関心層の行動変容を促すきっかけになれるよう、多様な企業との連携による新しいサービスを開発し、区民のスポーツ振興・健康づくり実施率を高めます。

● たんぱく質、足りてますか？ (森永製菓とのタイアップ)

森永トレーニングラボは、森永製菓のトレーニング施設として錦織圭などトップアスリートを支援しています。生理学・バイオメカニクス・栄養学等を駆使したスペシャリストと、新たに成人の「食・栄養」をテーマにしたタイアップ事業で働き世代にアプローチします。



現代女性はたんぱく質が不足!

● お客様と施設をつなぐウェアラブルコンテンツ導入

働き世代のライフスタイルに応じた運動機会や新たなスポーツの楽しみ方として、ウォーキング、ランニング等のワークアウトデータを見える化したウェアラブルコンテンツを導入します。データ活用は、開発メーカーと当団体が共同で行います。





エ 利用促進・拡大のためのデータ活用

■ 非利用者データを用いた重層的な分析

利用拡大のために、市場調査や非利用者の状況を調査します。当団体は、横浜市居住満 20 歳以上男女 2,500 人を対象に「横浜市民スポーツ意識調査」を実施しました。その中で港南区居住者のデータ収集を行い、スポーツセンター事業立案に活用します。さらに、市場調査会社による商圈分析など、客観的データを用いた重層的な調査によ、潜在層・非利用者分析に活用し、利用につなげます。

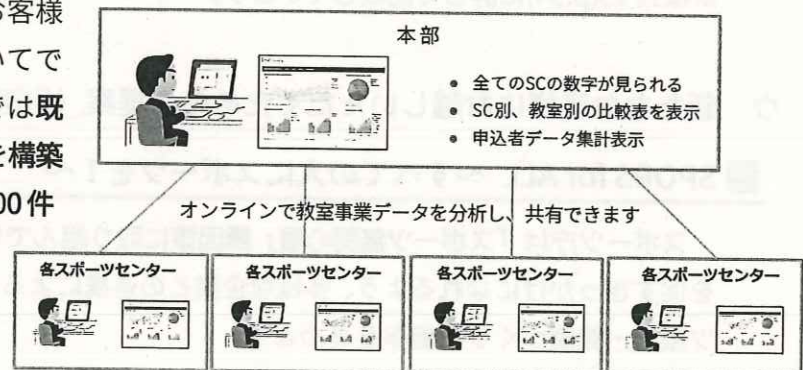


横浜市民スポーツ意識調査

■ ICT・情報技術をつかった利用促進策

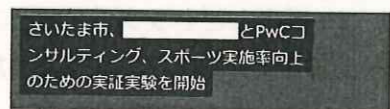
● マーケティング情報を教室サービスに活かします！

継続した参加を促すために、お客様の手続きはインターネットを用いてできる限り簡略化します。当団体では既に教室事業における IT システムを構築し、港南スポーツセンターでは 7,600 人以上の方が登録されています。登録者情報をマーケティングデータとして分析し、ニーズにマッチしたプログラムを提供します。



● 蓄積されたビッグデータを活かします！

当団体が管理するスポーツセンターでは、無料・有料に関わらず全てのご利用状況を正確に把握する独自システムを構築しています。私たちは、このデータを活用し、お客様が場所・プログラム・日程から自由にスポーツイベントを見つけられるウェブ上のプラットフォーム『ここスポ』（スポーツ庁実証事業）に情報掲載しています。当団体管理施設、年間利用者約 400 万人以上におよぶビッグデータを活かしてスポーツ実施率を向上させます。



スポーツ庁のスポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクトの一環として

● データ解析でプログラムの付加価値を高めます！

当団体は、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科スポーツシステムデザイン・マネジメントラボと事業連携を締結しています。港南スポーツセンターにおいて、データ解析を取り入れた新しいプログラムを実施します。横浜銀行アイスアリーナでは、滑走を映像で確認し、プロスケーターのデータをもとに自分のベストフォームを見つける事業を開催しました。



映像を使った新しい教室プログラム

● ネット申し込みも安心のサポート体制！

受付にタブレットを常設し、インターネット環境に不慣れなお客様に対して、積極的にお声をかけ、丁寧に説明することで、定期教室やイベント、施設予約など、お申し込みについての不安を解消していただきます。



お申し込み操作をサポートします

(5) 港南区民の心身の健康に資する教室事業計画

ア 教室事業の考え方～港南区の特性とお客様ニーズを反映します～

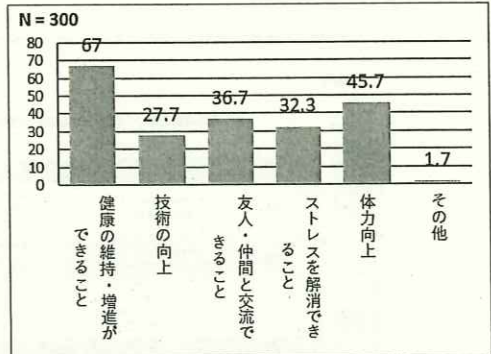
■ 港南区民の人口特性を生かした教室設計

私たちは、港南区民のスポーツ実施率を高めるために、**公益スポーツ団体の強みである多様目・多世代への豊富なプログラムで教室事業を構成し**、指定管理者としての使命を果たしていきます。

また、市内4番目と高齢化率が高い港南区のスポーツセンターとして、今後の高齢化社会に向けての取組として、高齢者を対象とした体操教室や転倒骨折予防などの健康づくりプログラムをはじめ、子育て世代・働き世代に向けたプログラム、子どもが健やかに育つ環境づくりについても目を向けた充実した教室を展開します。

■ 参加者の目的に沿ったプログラム

毎年延べ約85,800人以上の方が参加される港南スポーツセンタースポーツ教室。令和元年度に実施した調査では、運動の実施理由は「健康の維持・増進」が最も多く、次いで「体力向上」、「仲間との交流」となっています。教室内容は、お客様の目的に合わせ指導計画に反映させ、満足度の高い教室プログラムを実現していきます。



「運動をする際に何を重視するか」(令和元年度当団体調査)

■ 強化する教室プログラム

● 働き世代向けフィットネス

日本公共スポーツ施策協議会公認プログラム『エイベックスダンスプログラム』を導入するほか、引き続き公益社団法人日本フィットネス協会の協力を仰ぎ、各地で人気の最新フィットネスプログラムを導入します。常に新しいプログラムを導入することで、新たなお客様を開拓します。



エイベックスダンスプログラム

● 運動がすきになるキッズプログラム

私たちは、アシックスジャパン株式会社や日本体育大学、一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会との協力関係のもと、最先端のスポーツ科学に基づき、子供の運動能力を引き出すプログラムを実施します。当団体が導入した『リズムジャンプトレーニング』など新たなプログラムにより、運動が苦手なお子様でも楽しみながら体を動かすことができます。



楽しく体が動くリズムジャンプトレーニング

NEW!!

■ アシックス『キッズスポーツラボ』を開催します！

協力会社グループのアシックスが有するスポーツ工学研究所で開発された、子ども向け教室事業を展開します。スクールスタート時、中間時、修了時にお子さまの運動能力を定期的に測定し、その結果を参考に運動プログラムを展開し、お子さまがカラダを上手く使って運動ができるようサポートしていきます。



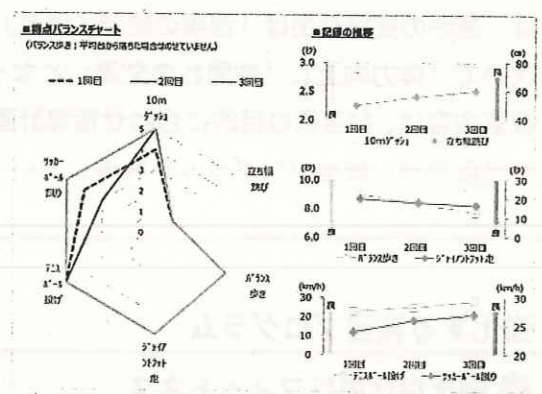
教室修了時に測定結果と伸び率から、お子さまにおすすめのスポーツを判定します。

ID番号: 1

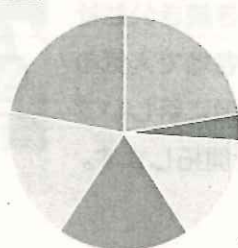
測定結果シート

★ 測定項目とオリンピックの主な競技との関連性 ★

測定項目	測定項目	オリンピックの主な競技
走力	10mダッシュ (全力で走り出す)	陸上競技 (短距離) ・ サッカー ・ バスケットボール ・ 自転車競技 ・ ホッケー ・ ラグビー ・ 野球
跳躍力	立ち幅踏み (できるだけ高く跳びます)	陸上競技 (短距離) ・ 野球 ・ バドミントン ・ バレーボール ・ トランポリン
バランス力	バランス歩き (手首の上をバランスをとりながら、できるだけ長く歩きます)	スケートボード ・ カヌー ・ サーフィン ・ ボート ・ セーリング ・ 馬術
調整力	ジャンプフットスタ (1持ちが2回に1回だけ跳び、2回と交互に繰り返して、できるだけ長く歩きます)	陸上競技 (短距離) ・ 馬術 ・ ドラゴンボート ・ ヨーフィン ・ スケートボード
投力	テニスボール投げ (ネットに向かって、全力でテニスボールを投げます)	陸上競技 (短距離) ・ テニス ・ 野球 ・ ソフトボール ・ 水球 ・ バドミントン ・ バドミントン ・ バレーボール
キック力	サッカーボール蹴り (ネットに向かって、全力でサッカーボールを蹴ります)	サッカー ・ 空手 ・ テコンドー ・ ラグビー



測定結果から
おすすめスポーツ
を判定します！



- 走力 ★★★
- 跳躍力 ★★★
- バランス力 ★
- 調整力 ★
- 投力 ★
- キック力 ★★★
- 3回目の各測定項目の結果と伸び割合を総合して、今後さらに結果が良くなりそうな運動能力を、グラフの面積の大ききで示しています。
(1位:***, 2位:**, 3位:*)

■ コメント

3回目の測定結果はいかがでしたか？ 幼児期で大切なことは「上手/下手」や「できる/できない」よりも、遊びの中でいろんな動きを経験し、何よりも「運動が好き」になることです。このお正月はKSL (キッズスポーツラボ) で体験してきた運動に加え、風あげや羽根つきなど、この時期特有の遊びにチャレンジしてみるのも楽しそうですね！そして1月からKSLでお友達と一緒にいろいろな遊び運動を楽しんでいきましょう。



イ 港南スポーツセンター教室計画

定期教室

● 乳幼児や子育て世代の教室

乳幼児の成長に大切な親とのスキンシップを図ります。マタニティプログラムは、日本マタニティフィットネス協会など専門講師とし、子育てに関する情報交換、交流が図れる場として位置づけます。

ベビーマッサージ	15組	50分	赤ちゃんとのスキンシップ効果の向上や心身のリフレッシュを図ります。
赤ちゃんと一緒にHipHop	15組	50分	音楽に合わせてしっかり、楽しく身体を動かします。
親子体操	20組	60分	親子で様々な遊びの体験を通してスキンシップを図ります。
親子リミック	20組	60分	音楽に合わせてしっかり、楽しく身体を動かします。

● 幼児期からジュニアまでの教室

横浜市スポーツ推進計画にある「スポーツをしない子どもへのアプローチ」として、遊びの動きを取り入れ、運動の習慣化を図ります。また、私たちの専門性を活かしたスポーツ医科学に基づくプログラムを展開します。

幼児体操(ラッコ)	40人	45分	様々な器具を用いて運動することで、基礎体力の向上を図ります。
幼児体操(アザラシ)	40人	60分	様々な器具を用いて運動することで、基礎体力の向上を図ります。
子どもの運動基礎	45人	70分	楽しみながら基礎体力の向上や仲間づくりを進めます。
『走・跳・投』小学生体力向上	45人	75分	基礎体力や応用力などを身につけ、体力の向上を図ります。
苦手克服体操	40人	75分	苦手意識をなくすため楽しく身体を動かし基礎体力向上を図ります。
キッズHIPHOP	20人	45分	楽しみながらリズム感を養います。
ジュニアHIPHOP①	30人	60分	ステップの基礎を学び、楽しく動きながら体力向上を図ります。
ジュニアHIPHOP②	20人	60分	難しいステップにも挑戦し、楽しく動きながら体力向上を図ります。
ジュニア空手	20人	40分	空手の基本動作や楽しさを学びます。
ジュニアバドミントン	36人	75分	バドミントンの基本動作や楽しさを学びます。
YSCCキッズサッカー	40人	75分	YSCCの指導により基本動作や楽しさを学びます。
YSCCジュニアサッカー	40人	90分	YSCCの指導により基本動作や楽しさを学びます。
港南SC放課後キッズ	10人	120分～	放課後預かり保育の一環として様々なスポーツが楽しめるスクールを開催します。

● 健康づくり・シニア対象教室

継続的な活動や仲間づくりにつながるよう工夫された多種多様な運動プログラムです。ロコモティブシンドローム対策や転倒骨折予防を念頭に置いた介護予防プログラムを実施します。

お元気体操(弱)	100人	65分	リズム体操や筋力トレーニングで元気なからだをつくります。
お元気体操(中)	100人	80分	ウォーキングやリズム体操、筋力トレーニングを中心に元気なからだをつくります。
お元気体操(強)	100人	65分	リズム体操や筋力トレーニングで元気なからだをつくります。
てんこつ体操(火)①②	30人	50分	筋力、柔軟性、バランス力をアップさせる運動を行います。
てんこつ体操(水)	50人	50分	筋力、柔軟性、バランス力をアップさせる運動を行います。
てんこつ体操(木・金)	30人	50分	筋力、柔軟性、バランス力をアップさせる運動を行います。
シニアのためのからだ改善	15人	50分	有酸素運動、ストレッチ、筋力トレーニングでシニアでもポジティブに全身をバランスよく鍛えます。
姿勢デザイン	15人	90分	姿勢を維持・改善することで健康維持増進につなげます。
リハビリ(機能回復)	15人	90分	脳血管疾患等罹患後のリハビリトレーニングを行います。
膝腰機能改善	15人	90分	肩腰膝痛予防を様々な用具を用い解消します。

● 16歳以上対象の教室（スポーツ・フィットネス）

基礎体力の維持・向上、仲間づくり、基礎的な競技テクニック習得を目的に、運動の習慣化を促すプログラムです。また、生活習慣病予防や精神的ケアなど多様なプログラムで運動しない層を取り込みます。

バドミントン(朝・夜)	55人 33人	105分	基本技術習得からゲームに必要なマナー、練習方法などを学び、より実践的技術を習得します。
卓球(火・水)	56人 75人	105分	基本技術習得からゲームに必要なマナー、練習方法などを学び、より実践的技術を習得します。
太極拳(昼・夜)	75人	90分	太極拳の基本となる姿勢を習得します。
フラダンス(火・木・土)	30人	50分	フラダンスの基本となる姿勢とステップを習得します。
はじめてのヨガ	40人	50分	呼吸や基本的なポーズで心とからだのバランスを整えます。
ヨガ(火・金)	40人	50分	呼吸とポーズで心と体のバランスを整えます。
背骨コンディショニング	15人	60分	体のゆがみに気づき、簡単な運動で身体の不調を改善します。
身体のメンテナンスレッスン	15人	50分	肩こり、腰痛など疲れを溜めないよう身体をリセットします。
トータルフィットネス	100人	70分	有酸素運動、筋力トレーニング、ストレッチなどバランスよく鍛えます。
ピラティス(火10・11)	40人	50分	身体の正しい使いかたを学び、癖やゆがみを整えます。
ピラティス&ヨガ	40人	50分	心とからだのバランスやからだの癖やゆがみを整えます。
美ボディピラティス	40人	50分	身体の正しい使いかたを学び、骨盤のゆがみを整えます。
姿勢コンディショニング(火・水)	40人	50分	体幹の筋肉をほぐし、姿勢を整えることで軽やかに動ける体をつくります。
心と体のリフレッシュ体操	30人	50分	リズム運動、ストレッチなどからだを動かすことで心とからだをリフレッシュします。
脱！メタボ予防改善	10人	90分	有酸素運動や筋力トレーニングで運動習慣を身につけます。

● カルチャー教室

スポーツをされないお客様にも当館をご利用いただく機会を提供するとともに、研修室の空きコマ活用として実施します。

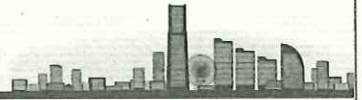
健康マージャン(入門・初級)	30人	110分	初めての方もゲームができるよう点のつけ方を覚えます。
健康マージャン(中級)	30人	110分	勝負にこだわらず、楽しみながら頭を使います。
歌声サロン	30人	50分	昭和の歌謡曲や童謡を楽しく歌います。
ゴスペル	30人	50分	ストレス発散！みんなの声が重なり合う爽快感が最高です。

■ 当日受付教室

スポーツタイムはメンバーを固定せずゲームを中心としたプログラムです。フィットネス系教室は、ヨガやコアトレーニングなど人気のプログラムを豊富に用意し、定期教室修了後のお客様も積極的に取り込みます。

シニアエアロビクス	50人	50分	シニアの方でも大丈夫、楽しくエアロビクスダンスで、無理なく動きます。
シェイプエアロ	50人	50分	エアロビクスダンスで効果的にボディラインを整えます。
エアロコンディショニング	50人	50分	エアロビクスや筋力トレーニングでボディラインを整えます。
火曜ズンバ	80人	60分	ラテン系音楽とダンスを融合させた楽しい振り付けで、動きます。
ズンバGOLD	80人	50分	初心者やシニア向けのズンバです。無理なく動きます。
のんびりヨガ	50人	50分	平日の疲れた心と身体の状態を整えましょう。
ナイトヨガ	40人	50分	暗い部屋で心落ち着かせ、体の歪みを改善しましょう。
ウィークリーエクササイズ	30人	50分	週替わりのエクササイズで集中的に鍛えます。





週間スケジュール

		週間スケジュール表												定期教室	当日受付教室
曜日		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00		
		A帯			B帯			C帯		D帯		E帯		F帯	
月	1体a														
	1体b														
	2体		個人利用		個人利用			個人利用			個人利用				
	3体			丹波はじめてのヨガ		ウェーダーエクササイズ									
	第1研修室		実習コンディショニング												
	第2研修室														身体のメンテナンスレッスン
	託児室														
火	1体a		火曜ズンバ		トータルフィットネス		火曜11時半のお元氣体操								火曜卓球
	1体b														個人利用
	2体		親子体操		火曜11時ヨガ		実習コン(倉庫講座)								個人利用
	3体		火曜9時ピラティス		火曜10時ピラティス			火曜1時でんこつ		火曜2時でんこつ					火曜Hula
	第1研修室		歌声サロン												ナイトヨガ
	第2研修室														
	託児室		託児		託児										
水	1体a		水曜卓球												個人利用
	1体b														個人利用
	2体		親子リズムック												個人利用
	3体				水曜11時でんこつ		シニアエアロビクス								個人利用
	第1研修室				シニアのたのしみ体操										
	第2研修室						水曜姿勢コン								
	託児室		託児		託児										
木	1体a		朝のバドミントン												
	1体b														
	2体		個人利用		個人利用										個人利用
	3体		木曜9時でんこつ		木曜11時のHula		美ボディピラティス								個人利用
	第1研修室														
	第2研修室														
	託児室		託児		託児										
金	1体a														
	1体b														
	2体		エアコンディショニング		シェイプエアロ										個人利用
	3体				金曜11時ヨガ		金曜12時でんこつ								個人利用
	第1研修室														個人利用
	第2研修室														個人利用
	託児室														個人利用
土	1体a		朝の太極拳												
	1体b														
	2体		土曜ズンバGOLD		のんびりヨガ										個人利用
	3体														個人利用
	第1研修室														個人利用
	第2研修室														個人利用
	託児室														個人利用
日	1体a	0													
	1体b	0													
	2体	0													
	3体	0													
	第1研修室	0													
	第2研修室	0													
	第2研修室	0													

多様な教室事業の形態

子育て世代からシニアまで多世代のお客様にご用意する教室プログラムを、お客様がライフスタイルに合わせてご利用いただくために、次の形態で構成します。

定期教室	参加者を事前に募集し、一定期間継続的に行うことで、基礎技術や知識を段階的に習得するとともに、共にスポーツに親しむ仲間づくりを促進します。
当日教室	色々な教室に参加したいお客様、都合に合わせて参加したいお客様のために、事前の申し込みなく参加できることで、運動の機会を確保します。
短期教室	参加者を事前に募集し、夏休み・冬休み期間を利用した教室事業を実施することで、スポーツ・文化活動の生活化・日常化を促します。

● サブスクリプションサービス (定額料金)

当日受付教室 (8教室) にサブスクリプション (定額料金) サービスを導入します。お客様は定額で1か月間、様々な種類の教室に参加できるため、多くの教室に参加するほどお得になり、運動機会を確保できます。当日教室では、オンラインレッスンも導入します。



初心者向けオンラインヨガ教室

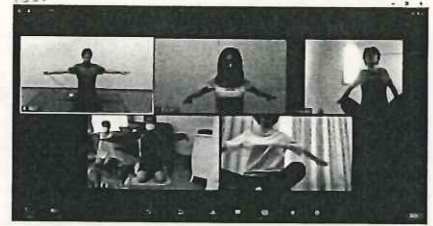
■ 安心して通っていただくためのPR動画・教室体験会

教室は、競技スポーツからシニア向けなど全45種と多様なプログラムです。私たちは、定期教室をご検討のお客様に体験会を開催するほか、教室のPR動画を作成し、レッスン内容や運動量などの不安を解消したうえで、安心してご参加いただけます。



● オンラインを活用した教室展開

港南スポーツセンターに足を運ぶことが難しい方や、新しい生活様式に対応するための一環として、オンラインを活用した教室を展開します。また、当団体が管理する市内スポーツセンターとも連携した教室を展開することで、港南区民にとどまらず、新たな顧客を獲得することを目指します。



スポーツセンターで行ったオンライン教室

● 港南区全域での教室展開（他施設との連携事業）

区民の健康づくりを担う当団体は、スポーツセンターから離れた地区にお住いの方に向けて、区全域にわたって健康づくり活動が広がるよう地区センターや地域ケアプラザ、子育て活動拠点等を会場とした教室を展開していきます。

※様式 15 (p.100) に詳しく説明しています。



地域ケアプラザ出張教室
「てんこつ体操」

● ラポール上大岡との連携・教室プログラム

障害者のスポーツや文化活動の新たな支援拠点である「ラポール上大岡」と連携して健常者・障害者がともにスポーツに親しむ機会の提供や健康づくりを支援します。

○ 障害者の文化・スポーツ活動を両施設がサポートします！

障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール(新横浜・上大岡)

スポーツ文化施設の利用
各種教室体験

港南スポーツセンター

各種教室体験
ポッチャ体験
中途障害者リハビリ教室

きっかけづくり & 継続実践場所



てんこつ体操

ウ 満足度向上につながる教室事業のPDCAサイクル

多様なお客様に満足度の高いプログラムを提供するためには、私たちは**絶えずお客様の声を聞く機会を確保し、それを講師とともに改善するというPDCAサイクルを根気よく続けることが最も重要**です。私たちは、教室事業のPDCAサイクルの徹底と併せ、新たなフィットネスプログラムの導入など、フィットネス市場の動向にも目を向け、参加者を飽きさせない工夫を絶えず行います。

■ 教室の企画から改善まで 徹底したPDCAサイクル

● 教室参加者への効果測定

運動の機会を絶たず継続率を高めるために、プログラムに健康・体力増進の効果測定を用います。姿勢改善教室などの定期教室初回時と終了時の数値を比較し、効果を知ることで継続の動機につなげます。



姿勢と筋肉を見える化する測定



● レッスン内容のモニタリング

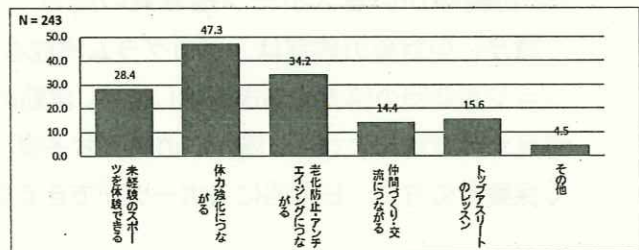
教室ごとのレッスン計画に基づき、各回のプログラムや指導方法の留意点を記した指導案を作成します。外部講師による指導は、各回終了後に職員が報告を受けるほか、プログラムのマンネリ化、参加者への不適切な言動が無いように、チェックシートによるレッスン内容の評価を定期的に行います。



確認した教室チェックシート

● 新たなプログラムの導入とリニューアル

プログラムのマンネリ化防止や参加者数が少ない場合は、アンケートを行い翌期にはプログラムを改善・変更します。さらに、港南スポーツセンター全体の顧客満足度が低下しないよう、トレンドのプログラムなどの新規教室に切り替えます。



定期的なアンケートで「参加目的」をうかがい、新規教室に反映します

● 定期教室修了者の継続を促すサポート

私たちは、区内の競技団体やサークルを支援しているため、教室終了後のお客様には地域コミュニティでのスポーツ活動を啓発していきます。また、当日受付教室において運動強度に差をつけたフィットネスプログラムを開催し、継続的に運動できる環境を用意します。



■ プログラムに合わせたインストラクターの配置

● 当団体のインストラクター

健康づくりプログラムや子どもの体力・競技力向上のための最新プログラムを導入したジュニア教室は、職員が直接レッスンにあたります。トレーニング室のインストラクターも兼ねるため、お客様に親しみを感じていただきやすいことに加え、ニーズに応じた運動プログラムを一貫して提案することができます。



副所長による親子サッカー教室

● 団体連携による専門インストラクターのレッスン

バドミントンや卓球などの競技種目は、当団体加盟の市・区スポーツ協会等に所属する講師に依頼します。また、地元出身のオリンピックや横浜F・マリノス等のプロコーチや選手を招へいし、トップスポーツ界での活躍経験がある方からの指導により、競技への関心を高めることができます。



横浜マリノスサッカー教室

■ 教室運営に協力していただく団体

団体名	担当教室
横浜市卓球協会	卓球教室
港南区スポーツ協会	バドミントン教室
横浜市太極拳協会	太極拳教室
YSCC	キッズ・ジュニアサッカー教室
横浜F・マリノス	ふれあいサッカー教室



ジュニアバドミントン教室

● 初級障がい者スポーツ指導員の配置

障がい児対象の教室は、プログラム構成などを横浜市リハビリテーション事業団の協力を仰ぎ実施します。常勤の初級障がい者スポーツ指導員が教室講師となり、障がいのあるお子様、また一緒にご参加いただく保護者の方に、日常的にスポーツができる環境を提供します。



資格保有者の副所長が推進します

● 地域人材の積極的な登用

港南区スポーツ協会、横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座修了生、横浜市スポーツ人材活用システムに登録する地域の方へ、各種教室の講師や運営補助従事者として地域人材を活用します。



てんこつ体操教室の講師

Ⅱ 安心の教室運営のために

■ 外部講師への教育徹底 ～安全性とホスピタリティの確保～

港南スポーツセンターで計画する 64 教室を安全に行うために、外部講師への安全教育を特に徹底します。また、公共サービス従事者としてスポーツセンター設置目的等を十分に理解し、レッスンにあたります。

■ 外部講師との確認事項

契約時 (年1回以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応(誘導班、避難経路の確認) ・施設の運営方針、接遇マナー、モニタリングへの参画 ・個人情報の取り扱いに関する誓約書 ・資格書類、健康診断の確認
月初	<ul style="list-style-type: none"> ・AED訓練
出勤時	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス等感染症防止対応、衛生管理への協力 ・教室参加者からのご意見・お褒めの言葉、アンケート結果等 ・施設からのお知らせ



月初の AED 訓練



出勤時の申し送り事項にサイン



■ 全参加者対象に傷害保険を独自加入

スポーツ教室のプログラムは、安全面を十分に配慮していますが、万が一の事故に備えて、全ての参加者を対象に、指定管理者独自に傷害保険に加入します。教室開催中におきた怪我を傷害保険の範囲内で補償します。**新たに実施するオンラインレッスンも対象**となります。

※補償内容は、様式 14(p.89)に詳しく掲載しています。

■ 荒天予報時等の事前連絡

台風接近や大雪などの荒天により、港南スポーツセンター最寄りの公共交通機関が乱れた場合は、原則として教室開催を中止または順延とします。定期教室へ参加されているお客様には、ホームページでの注意喚起に加え、電話連絡や電子メールによる連絡を確実に実施します。

オ 教室への参加方法

■ 定期教室

■ 多様な応募方法

当団体が独自開発したインターネット申込みのほか、インターネットに不慣れなお客様のために、「往復はがき」での申込み方法も行います。スマートフォンからもお申込できます。

■ 参加決定方法

定員を上回る場合は「市内在住・在勤・在学者で初参加」を優先し、抽選します。当選者以外はキャンセル待ちとし、当選者がキャンセルした場合に繰上当選となるよう柔軟な仕組みとします。

■ 定員に満たない場合

定員に満たない教室は、「追加募集」として、館内に申込み状況を掲出し、開催初日まで電話や来館により受付します。教室開始後は、途中参加についても柔軟に対応します。

■ キャンセルのお客様への対応

自己都合でキャンセルする場合は、「教室事業基本マニュアル」に則り、柔軟に対応します。キャンセル待ちの教室は、繰上当選の連絡を迅速に行います。

■ 当日受付教室

「今日は時間が空いたから運動したい!」というお客様が、気軽に参加できるように、当日申込みの教室を開催します。

港南スポーツセンターの当日受付教室参加者数は、第3期指定管理開始前年度から延べ5,500人以上もお客様が増えています。今後も、働き世代・子育て世代の参加機会を増やすために、土曜の朝や夜のプログラムを増やし、区民のスポーツ実施率向上につながるようプログラムの充実を図ります。



当日受付教室PR広告



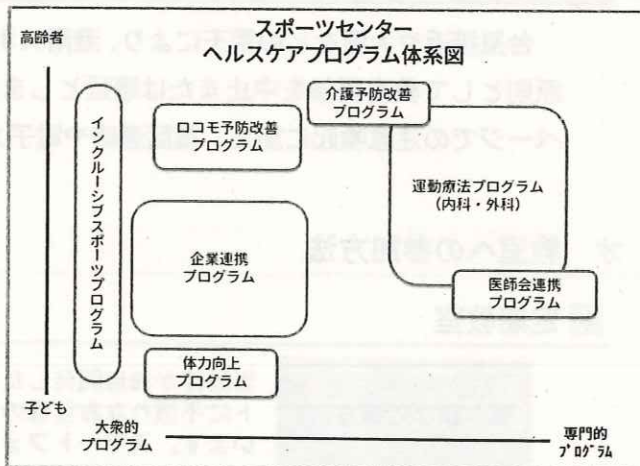
(6) 多彩な自主事業計画

港南区民の運動機会を増やすため、私たちはこれまで開館日の拡大、教室事業の拡充などに取り組みました。また、利便性向上策としてレンタル・物販、自動販売機を設置し、その収益を指定管理事業に充当してまいりました。次期も創意工夫による利用拡大・収入増に取り組みます。

ア 私たちが目指すヘルスプロモーション

近年、港南区の人口は減少しており、高齢化率は市全体に比べ高く、要介護認定者数は横浜市 18 区内 6 番目です。これらの背景から、区民の健康づくりや疾病予防に関して、区政運営方針や地域福祉保健計画「港南ひまわりプラン」では人とのつながりをつくりながら**健康寿命への意識を高めること**を基本に、地域で支え合う安心して暮らせる福祉・保健のまちづくりを推進しています。

私たちは、横浜市スポーツ医学センターの知見やノウハウを活かし、ヘルスプロモーション事業を推進し、区政運営方針である「愛あふれる♡ふるさと港南に」を目指します。



内科系運動療法

内科医師の指示書（運動処方箋）に基づいて行う運動プログラム、内科系運動療法を実施しました。第 4 期指定管理において区民が身近な場所で医科学的なサポートを受けられるサービスとして、継続して実施します。



運動負荷試験

● 横浜市疾病対策事業への協力

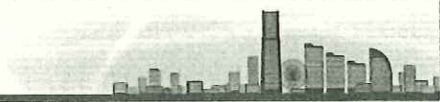
当団体が独自に推進している運動療法の実践から、横浜市医療局の疾病対策事業「**心臓リハビリテーション推進事業**」への協力について、既に強化指定施設病院との連携を進めており、横浜市民・区民の疾病予防・改善に向け事業協力を進めていきます。



強化指定施設病院との連携

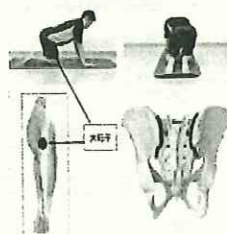
● 特定保健指導の受け入れ

横浜市の課題である特定保健指導の受診率の拡大に向けて、指定運動療法施設である港南スポーツセンターは、新たに特定保健指導に取り組みます。港南区民が特定健診の結果から、生活習慣改善のための自主的な取組を継続的に行うことができるよう、健康運動指導士等が生活習慣改善等のサポートを行います。



■ 整形外科系運動療法『メディカルエクササイズ』

当団体が運営する横浜市スポーツ医科学センターが開発した「体のアライメントを元に戻す」を基本に、関節の負担を軽減し、痛みを減らす運動療法です。治療やリハビリ受診を終了し、整形医師の指示書に基づき運動によって症状の改善が見込める方を対象に、専門資格を保有する指導員による整形外科系運動療法を継続して実施します。



日常生活の支障をなくす運動療法

● 運動療法を活用したオンライン教室を開催します！

新たな生活様式の状況下でも、内科系及び整形外科系の運動療法プログラムを多くの区民に提供するため、オンライン教室を実施します。また、施設内でも公開講座を開催します。

■ スポーツセンターとかかりつけ医の連携（横浜市医師会の協力）

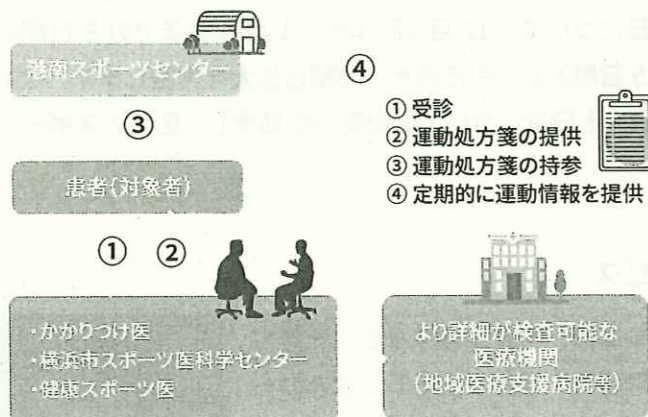
当団体は、第3期指定管理期間中に横浜市医師会スポーツ医会と事業連携した「スポーツ医事相談」をはじめ、区民対象の健康講座や少年野球チームを対象とした「野球肘健診」を実施しました。



区民対象の野球肘検診

第4期指定管理期間はスポーツ傷害相談のみならず、高齢者のロコモティブシンドロームや生活習慣病予防・改善を視野に入れたスポーツセンターと近隣の「かかりつけ医」をつなぐ「地域連携パス」を進め、運動療法を通じて横浜市医師会との連携を強化します。

■ 医療機関と港南スポーツセンターとの運動療法連携パス イメージ



■ アウトリーチ対応できる当団体のシニア向けプログラム

● 運動プログラムによる介護予防

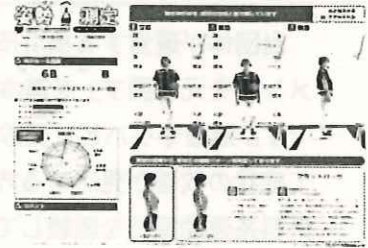
港南区全域への健康づくりを推進するには、地域の健康づくり拠点との連携は欠かせません。ロコモティブシンドローム予防のための横浜市オリジナルトレーニング『ハマトレ』等を用いた介護予防プログラムを港南区で普及させるほか、福祉保健センターや地域ケアプラザへの生活習慣病予防、認知症予防の取組に対し、運動プログラムを活用して支援します。



当団体が開発協力した「ハマトレ」

● 姿勢改善プログラム

当団体は、正しい姿勢を画像解析を用いてアドバイスする「姿勢測定サービス（有料）」を実施しています。港南スポーツセンターでも人気のこのプログラムは、シニア世代を中心に第3期指定管理期間中に254の方が参加されました。区民の健康寿命を延伸するために、第4期指定管理においても継続して実施します。



姿勢測定結果表

■ 当団体オリジナル『はまちゃん体操』DVDの販売

『はまちゃん体操』は、介護保険法が改正された平成18年に、横浜市から介護予防を目的とした健康体操作成の依頼を受け、当団体が作成したプログラムです。関節運動やストレッチ、有酸素運動などを取り入れたメニューは、サークルや地域での健康づくり活動に活用していただくほか、シニア世代の自宅での運動習慣を目的にご利用いただいています。



全国の団体からご注文
いただいています！

イ 利用拡大のご提案

■ 全国に先駆けた開館時間・開館日の拡大

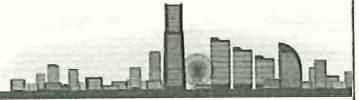
当団体は、全国に先駆けてスポーツセンターの営業時間の拡大を行ってきました。港南区民の利用機会拡大のため、年末年始の休館日について、12月28日から1月4日までの8日間の休館日を、12月30日から1月3日までの5日間とし、引き続き、開館日拡大を実施します。なお、近隣住民の方々の了承が得られれば、平日・土日祝について開館時間を拡大し、区民のスポーツ実施率向上に寄与します。

■ 気軽に利用できるレンタルサービス

スポーツセンターご利用の手軽さを高め、お仕事帰りなどに気軽にお越しいただけるように、スポーツ用品10種類以上のレンタルサービスを行っています。第4期指定管理においては、障がい者スポーツの活性化のために、新たにポッチャやカローリングを貸し出すほか、多様なお客様の利便性と機能性を重視し、レンタル品を拡充していきます。



レンタル用品



■ ウォーキング・ランニング事業

● ランニングクリニックの開催

日野中央公園など、港南区の恵まれた自然環境の中で、これからランニングを始めて、フルマラソンへ初挑戦する市民を対象に、アシックス専属のスタッフを講師とするランニングセミナーを開催します。



アシックス専属講師によるランニングセミナー
足形測定も人気のプログラムです!

● ウォーキング・ランニングステーション機能拡充

港南区民の健康増進のために、引き続きウォーキング・ランニングステーションサービスを実施します。ロッカー等の貸出しの他、スポーツセンターを基点としたウォーキングオリジナルマップを配布しています。また、横浜市ウォーキングポイント事業も引き続き実施します。

■ステーションで提供するサービス(1回110円)

- ・ロッカー・シャワー利用、オリジナルマップ配布
- ・オプション(有料):各種測定(InBody・姿勢測定、健康チェック等)



区内の様々なコースを紹介

● 横浜マラソン・チャレンジ枠講座

市内各区に横浜マラソンへの出場枠を割り当てる「横浜マラソン・チャレンジ枠」を引き続き、協力・実施します。今期は、「初心者のためのランニングクリニック」を実施しました。第4期指定管理においても、港南区民ランナーにとって役立つ企画を開催していきます。



港南区民チャレンジ枠講座

ウ スペースの有効活用策

■ スポーツ用品ショップ

年間延べ 30 万人以上のお客様が来場される港南スポーツセンターには、様々なスポーツ種目が開催されます。スポーツショップと提携し、運動用具だけでなくウェアやサプリメントなど高機能で魅力的な商品をそろえたショップを館内ロビーに設置します。



■ 最新型の自動販売機設置

自動販売機は、スポーツ施設の利用満足度に直結する重要なサービスです。私たちは第3期指定管理期間において、バリアフリー対応機や災害時無償提供機能(500本)を備えました。これに加えて第4期は、マルチマネー対応自販機を設置し、館内キャッシュレス化を実現します。現金に触れず、自動販売機本体にも触れることなく購入できるため、利便性・衛生面においても優れています。



館内の全台をキャッシュレス化します

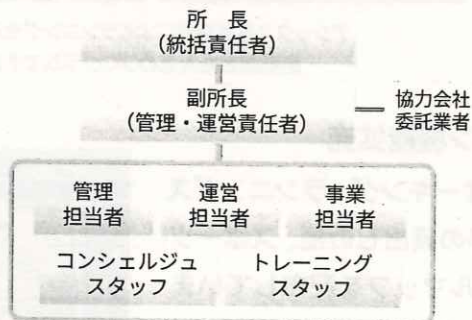


(7) 安全かつ効率的な業務履行体制

ア 港南スポーツセンターの管理運営体制

当団体の総合力を最大限発揮し、すべてのアクションプランを着実に実現していきます。円滑な業務遂行による高品質の運営を維持するために責任体制を明確にし、必要なスキルを持った人材を配置します。

港南スポーツセンター管理運営体制図



港南を愛する私たちにお任せください!

■ 責任者の配置

統括責任者に所長を配置します。所長は港南スポーツセンター管理運営の最高責任者として業務全般に精通し、港南区のスポーツを推進する能力に優れた者とします。一日12時間の開館時間とスポーツセンターの事業規模を考慮し、運営責任者として副所長を配置します。

● 安全なスポーツ施設運営を履行するための資格者配置

所長、副所長、セクション担当者3名、計5名の常勤職員は、**応急手当普及員資格**を取得します。さらに、専門スタッフとして最少6名・最大9名の非常勤職員を配置し、港南スポーツセンターの管理運営業務を遂行します。また、指定運動療法施設として、**健康運動指導士**を配置するほか、障がい者スポーツの振興に寄与する人材として、**初級障がい者スポーツ指導員**を配置します。

■ 専門スタッフの配置

各セクションには専門スタッフを配置します。受付にはコンシェルジュスタッフを1名配置します。トレーニング室スタッフは、当団体が定めるスポーツ・健康づくり指導水準に達するようトレーニング室責任者(副所長)が監督します。



地域に精通したスタッフ

■ 配置ポスト・勤務ローテーション

勤務ローテーションは、労働基準法などの関連法令を遵守し、すべての時間において常勤職員を配置します。教室参加料の支払時など、業務が繁忙する時は部分的にスタッフを2ポスト配置するなど、柔軟に配置します。なお、所長不在時に事故や災害などが発生した場合は、緊急連絡網を用いて所長や本部に連絡し、一次対応に遅れが生じないようにします。



■勤務体制

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
所長		[Shaded bar]													
副所長		[Shaded bar]													
管理担当者		[Shaded bar]													
運営担当者		[Shaded bar]													
事業担当者		[Shaded bar]													
コンシェルジュスタッフA・D		[Shaded bar]													
コンシェルジュスタッフB・E		[Shaded bar]													
コンシェルジュスタッフC・F		[Shaded bar]													
トレーニングスタッフA		[Shaded bar]													
トレーニングスタッフB		[Shaded bar]													
トレーニングスタッフC		[Shaded bar]													

● タブレットを活用した情報伝達

日常業務での申し送り事項については、タブレットを活用します。各エリアに支障のないように「わかりやすさ」「正確性」を共有することで、業務を円滑に進めます。

イ 団体本部のバックアップ体制

■ 本部でのバックアップ

私たちは、事務局本部6局、市内33箇所の公共スポーツ施設運営の実績を持つ法人です。不測の事態には、本部や近隣施設からの応援勤務を柔軟に対応しています。さらに、建物の安全性に関しては専門企業を含めたバックアップ体制で、お客様への安全・安定的なサービスを提供していきます。

■ 株式会社キョーエーメックによるハイレベルな維持管理業務

築41年を迎える港南スポーツセンターでは設備の老朽化が進行していることから、市民サービスの向上とお客様の安全利用を確保するために、引き続き、設備管理の専門知識豊富なキョーエーメックを協力会社として運営します。

※業務内容は、様式13(p.72)に詳しく記載しています。



キョーエーメックによる24時間監視体制

ウ 研修計画

■ 健康増進の専門性を取得する施設職員研修

● 横浜市スポーツ医科学センター専門職員による研修

指定運動療法施設として提供する運動療法には、医師の指示書に基づく運動メニュー作成や患者のリスク管理など専門性を要します。

当団体が管理運営する横浜市スポーツ医科学センターの医師や理学療法士、スポーツ科学員を講師として、専門研修を実施します。



画像解析による測定研修



● **本部指導部門による運動・健康指導スキルの徹底**

競技志向、健康づくりなど、多様な目的に合わせた対応ができるよう、本部主導のスキルアップ研修を行います。研修を担う健康づくり事業課は、指導スキルの水準や研修内容が実践されているかの確認のために覆面調査を行うことで、運動指導と接遇の高いスキルを維持します。



スキルアップ研修会

工 **経理体制**

内部でのダブルチェックはもとより、公認会計士、内部業務監査体制の確立により経理処理の精度を高めます。また、独自の会計システムを導入し、本部とオンラインでの会計処理を行い、経理業務の効率化と正確性を確保します。

■ **最適な予算執行の仕組み**

港南スポーツセンターの予算執行状況は公益法人会計システムを使って、事務局本部、現地双方からオンラインで確認できます。公の施設を預かる指定管理者として、お客様の安全確保・快適性維持のための修繕や運営経費が適切に管理できるよう、現地・本部双方で収支状況を確認しながら最適なタイミングで執行していきます。

● **独自の売上管理システムを構築**

券売機とレジを併用し、スムーズなお支払いを可能としています。さらに私共が継続して運営できる場合は、**初年度からキャッシュレス決済を拡張し**、お客様と従業員の利便性向上を図ります。

当団体独自の売上管理システム

キャッシュレス決済を拡張します！

事務所の管理パソコンでデータ収集し、適切な管理を実行！

■ **安全性を高めた施設の現金管理**

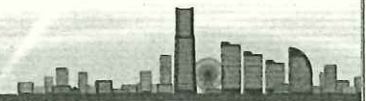
売上金の管理には**現金自動入金機**を設置し、現金管理の安全性を高め、現金輸送時のリスク軽減を図ります。

また、収入現金と支出現金とを完全に分離することで、明確な経理処理を推進します。施設内で取り扱う現金は、経理規程や事務マニュアルに基づき、厳正かつ迅速に行います。



入金機による安全な管理

横浜市の重要施策を踏まえた取組



個人情報の保護、情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業の振興施策など、横浜市の重要施策を的確に捉え、港南スポーツセンターの管理運営に反映します。

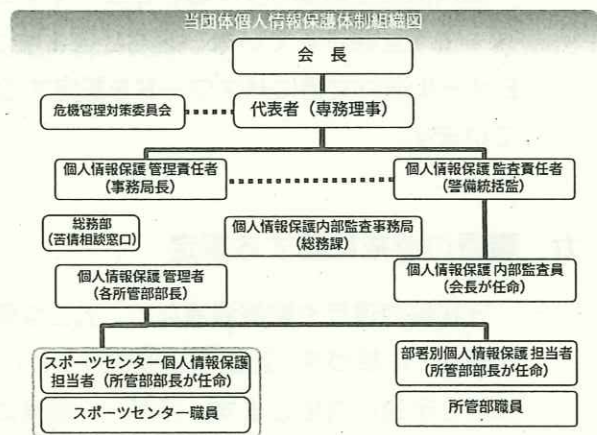
(1) 最高レベルの個人情報保護の取り組み

当団体は、情報漏洩や個人の権利・公益を害する事態の発生を予防するため、個人情報マネジメントシステムや情報公開に関する規定の運用を確実に行うとともに、職員はもとより外部講師も含めた研修を実施し、守秘義務を徹底しています。

ア 指定管理者に課された守秘義務の徹底

指定管理者は、お客様及び職員に関する個人情報、情報公開規定における非開示情報など、守秘すべき様々な情報を保有します。こうした情報が外部などへ漏洩すれば個人の権利や公益を害する事態を招来するおそれがあります。

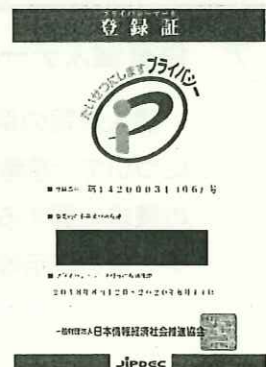
当団体は、プライバシーマーク付与事業者として、個人情報保護規程を設定し、組織体制・データ保護方策・個人情報の廃棄の手順等、情報漏洩防止のための必要な手続きを定め、これらの情報の保護を徹底します。



イ プライバシーマークの取得

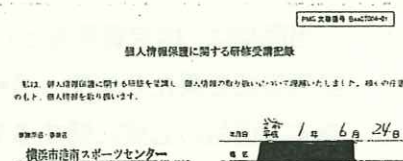
当団体は、平成 20 年 8 月にプライバシーマークを認定取得（全国の公益財団法人では初取得）し、6 回の更新をしました。個人情報保護に関する法律の規定以上の措置を定める「JISQ15001（個人情報保護マネジメントシステム — 要求事項）」に適合した個人情報保護体制を構築・運用し、お客様の個人情報を厳格に管理しています。

特に厳格な審査をクリアしたプライバシーマーク付与事業者として最高レベルの体制を整備しています。



ウ スポーツセンターにおける個人情報保護の取組

当団体が管理するスポーツセンターでは、年 2 回の個人情報保護に関する自主点検や、アルバイト・外部講師・ボランティアを含む全スタッフに年 1 回以上の研修を行います。また、個人情報を含む業務を委託する場合は、委託業者に安全な取り扱いや秘密保持が厳守できる体制を審査した上で契約しています。



個人情報保護の研修終了後には、全員から受講記録を受け取り職員の自覚を促します



エ 個人情報取得する際の徹底事項

個人情報取得する際は、お客様に対して、利用目的の明確化・利用の範囲・対応窓口等を丁寧に説明し、事前に承諾を得たうえで取得します。

個人利用の取得目的	
教室・イベント等事業に関する申込受付等	個人・団体利用の申込受付等
利用者アンケートの依頼	必要な範囲での業務委託
安全管理を目的とした利用者への連絡	その他サービスに対する苦情等の対応

オ 個人情報の漏洩防止への取組

個人情報を漏洩の多くは、ヒューマンエラーによるものと言われています。当団体は、FAX や Eメールで登録されていない宛先に送る際には、必ず複数人によるダブルチェックを行うとともに、Eメール送付文書にパスワードを設定するなど、第三者が閲覧できないように漏洩防止策を徹底しています。

カ 職員の懲戒に関する規定

守秘義務違反や情報漏洩など、公正な職務執行を脅かす疑いがあった場合は、「コンプライアンス規程」に基づき、適正な処理を行うとともに、顧問弁護士等外部の専門家からなる調査チームを設置し迅速に対応します。万が一、職員に法令違反や職務上の義務違反等があった場合は、「就業規程」及び「懲戒処分の標準例」に基づき、公平委員会での審議の上、厳正な処分を課します。

(2) 高い透明性を確保する情報開示への対応

ア 保有個人データの開示に対する対応

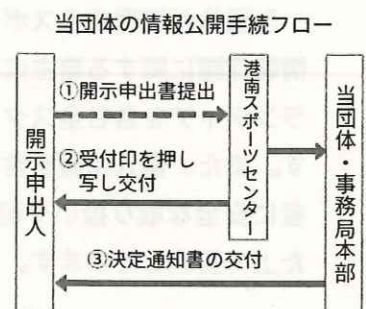
個人情報の保護に関する法律に基づく保有個人データの開示等の請求について、港南区が示す「指定管理者の保有する保有個人データの開示等の請求に関する標準規程」に準拠して、当団体は規程を作成し、保有個人データの開示等の請求に対して適切に対応します。

保有個人データの開示等の請求に関する標準規程



イ 情報公開手続きフロー

当団体は、指定管理者として十分な透明性を確保し、市民への説明責任を果たします。情報開示請求への対応は、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、当団体の保有する情報の公開に関する規程」を定め、右図のフローで14日以内に対応いたします。また、館内にはモニタリング結果や事業計画・報告書の閲覧コーナーを設けており、当団体の取組をいつでもご覧いただけます。





(3) ヨコハマ3R夢プランへの取組

ア ヨコハマ3R夢プランへの取組

ヨコハマ3R夢プラン「横浜市一般廃棄物処理基本計画」は、ゴミと資源の「リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（資源化）」＝3Rを進め、環境負荷の低減や資源・エネルギーの有効活用と確保を目的にしています。



私たちは、市民の皆様と協力しながら3R行動を進めることにより、循環型社会への取り組みに貢献します。

取組例

1	3R 行動・環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ■館内に3R 行動の掲示板を設置して市民への啓発 ■イベント時への3R 行動の案内掲示
2	食品ロス	<ul style="list-style-type: none"> ■はまのおすそ分け「YOKOHAMA フードライブキャンペーン」 各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、フードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈します。
3	まちの美化	<ul style="list-style-type: none"> ■地域で取り組む河川の清掃活動 ■港南区ハマロードへの参加
4	リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ用品のリサイクル活動の実施 スポーツをしたくてもできない子どもたちを作らないために、館内にスポーツ用品リサイクルコーナーを作り、サッカーボールなどのリサイクル化を図ります。 ■ピン・カンの分別リサイクルの徹底 ■使用済みインクカートリッジの再資源化
5	温暖化対策エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■グリーン電力を供給している会社との契約 ■館内にて花と緑を増やす啓発 ■人感センサーの導入、電灯の間引き、冷暖房温度の適正化による電気ガスの削減
6	ストックマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ■港南スポーツセンターの長寿命化を図る
7	国際展開・技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ■館内にてアフリカの貧困状況や井戸などのインフラ整備などの紹介 ■生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」の設置
8	適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴミの分別の徹底（燃やすゴミ、ピンカン、プラスチック等） ■ゴミの抑制（マイバッグ・マイ箸、マイボトルの持参、プラスチック用品の使用削減） ■ペーパーレスの推進 ■LED 照明の増加

イ カーボンオフセットの取組

当団体は、スポーツイベントの開催に係る準備・実施、イベント参加者の会場までの移動手段などにより排出されたCO₂を、「横浜ブルーカーボンオフセット」制度を用いて、環境保護に貢献しています。

InBody測定会に参加して横浜の海を守ろう！

『横浜スポーツ・レクリエーションフェスティバル』で使用する電力の一部を、横浜ブルーカーボンオフセット制度を用いてオフセットします。



InBody測定会
参加料の一部



プロジェクトを支援
海運を補填CO₂を削減
する事業を支援する。

CO₂
削減

令和2年10月25日(日)に開催した「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2020」で実施しました「InBody測定」が、市内スポーツセンター初の『横浜ブルーカーボン・オフセット認証』をいただきました。本イベントの参加料が、横浜ブルーカーボン・オフセット制度を通じて、金沢の海のCO₂削減に充てられるというものでした。

ウ その他の環境保護への取組

■ グリーン購入推進

「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」、「横浜市グリーン購入の推進を図るための調達方針」に基づき、グリーン購入を積極的に推進します。風力、太陽光、バイオマス（生物資源）などの自然エネルギーによる発電は、発電時に CO₂を発生せず再生可能であるため環境負荷が少ないエネルギーです。このグリーン電力の購入を通して、自然エネルギーの普及に貢献します。



■ スポーツ用品のリユース

ご家庭で不要になったスポーツ用品を受け入れ、希望者に提供することにより、資源の有効活用とごみの減量を図ります。また、不要なタオルなどを回収し SC の掃除に役立てたり、再生が可能なものを最大限に生かした方法で再利用を図ります。



■ 行政と連携した取組

横浜市資源循環局によるごみ減量や環境保護の啓発ポスターなどを館内に掲示し、お客様や近隣居住の方に、環境保護意識の高揚を図っていきます。

港南スポーツセンターには使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置など、横浜市の資源回収の取り組みに協力していきます。



使用済みインクカートリッジ
回収 BOX

(4) 人権尊重に徹した施設運営と事業

ア 人権尊重の考え方

当団体は、一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、老若男女・障害の有無の区別を無くし、ともに生きる社会の実現を目指します。そのためには、人権問題を自分たちの問題として考え、人権問題の理解を深め、取り組んでいきます。

施設の運営にあっては、差別や偏見、施設利用上の困難な状況を解消するため、すべてのお客様に対して公平で平等に対応します。また、性的少数者、外国人、障がい者、信者などの方々に配慮が必要ある場合は、相手の立場に立ち、思いやりのあるサポートを行います。



横浜市人権施策基本方針



イ 人権研修と人権啓発推進者の設置

人権研修は、年に1回全職員を対象に実施しています。また、各職場では、人権啓発推進者を中心に、人権週間にあわせたポスターやパネルの掲出や人権関係のパンフレットを職場内で回覧するなど、人権啓発推進活動を実施します。



人権研修(R元.1)

(5) 男女共同参画推進の取組

当団体は、誰もが性別に関わらず、自分の希望に沿った形で多様な選択を実現できる社会を目指すことを基本方針として、職場づくりやお客様対応、地域社会との協働を推進していきます。

職場内では、誰もが働きやすい職場にするために、仕事と育児・介護の両立に向けた規程整備を行い、育児休業・休暇等の取得を推進しています。

また、男女共同参画の推進と各種ハラスメントの防止に向けて、研修を1年に1回以上行っています。



第5次横浜市男女共同参画行動計画

(6) 市内中小企業への優先発注

当団体は、修繕等の発注、物品や役務の調達にあたっては、横浜市内中小企業振興基本条例の趣旨に則り手続きをしています。当団体の経理規程に基づき、競争入札等の方法により契約を行っており、事業者の指名にあたっては、市内経済の発展に貢献するため、市内事業者を優先しています。

(7) SDGsの取組

SDGsへの取り組み

スポーツが社会の進歩に果たす役割は、持続可能な開発のための2030アジェンダ宣言でも、次のように認識されています。









「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発および平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂の目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。」

(出典:国際連合広報センター(UNIC)「スポーツと持続可能な開発(SDGs)」,2016)

横浜市が2020年11月に制定した制度『Y-SDGs』に当団体は、認証区分「標準(スタンダード)」として認証されています。施設の老朽化対応をはじめ、一つでも多く「SDGs17の目標」の達成に協力していきます。



【参考】

	<p>すべての人に健康と福祉を</p>	<p>運動とスポーツを行うことはアクティブなライフスタイルと精神的な安定をもたらします。 私たちの活動は、まさしくこの目標の達成のための活動です。</p>	
	<p>質の高い教育をみんなに</p>	<p>健康・運動に関する講座を開催し、多くの市民の健康づくりに関する意識を高められる環境を提供します。</p>	
	<p>パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>横浜市の指定管理者として、スポーツ事業においても、施設管理事業においても、横浜市・民間事業者・地域住民など、様々な方々と手を取り合いSDGsの17のゴールの達成に寄与します。</p>	

スポーツによるSDGsへの取組は、現状ではまだまだ途上にありますが、様々なアイデアが生まれる余地があります。当団体としても、多くの具体的施策を提案し、実践していきます。

(8) インクルーシブスポーツの推進

当団体は、スポーツを広く捉え普及・振興を図るミッションを表明し、その中で、現在最も注視すべきは、すべての横浜市民がそれぞれに適したスポーツをそれぞれに楽しめるスポーツ=『インクルーシブスポーツ』の推進と考えています。

ア インクルーシブスポーツとは

インクルーシブスポーツという言葉の解釈や使われ方は様々ですが、横浜市スポーツ推進計画では次のように定められています。

「障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である共生社会の実現に向けた取組を推進する、各人の適性にあったスポーツ活動のこと」

私たちは、様々なステージの方々に適したスポーツを実践するとともに、共に楽しめるスポーツ活動を推進することで、インクルーシブスポーツを実現し「すべての人々が分け隔てなくスポーツに親しむことで、誰もが互いに尊重し支え合う共生社会の実現」をに寄与していきます。

イ 当団体のインクルーシブスポーツへの取組

当団体理念である「いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現」の達成には、障害の有無、老若男女、問わずスポーツ・レクリエーションが楽しめる社会をつくることにあります。

そこで、特別なニーズを持つ人もスポーツに参加できる機会・活動をつくり、「統合」や「包括」の状態をつくることを目指します。

除外 exclusion		分離 segregation	統合 integration	包括 inclusion
物理的・心理的な障壁があり、活動に参加できない人がいる状態		対象者ごとの参加機会は設けられているが、会場・内容は完全に分離	同会場・同内容ではあるものの、対象者ごとにグループを分けていて、特別扱いをしている状態	あらゆる人が、同会場・同内容で一緒に活動している状態
スポーツ実施率	低	中	高	高
当団体の取組	現状	現状 ~ 通過点	ゴール1	ゴール2

出典：ユネスコ サラマンカ声明（1994）「インクルーシブの原則」を図化

● インクルーシブスポーツの取組

◆年齢や障害の有無に制限されないチーム編成や対戦組合せで開催するスポーツ大会	【ボッチャ大会など】
◆健常者のスポーツ教室と障害者向けのスポーツ教室を同時に開催	【健康教室・リハビリ教室同時開催】
◆障害者の特性を理解しスポーツ活動を行うための講座・講習会	【スポーツ推進委員研修会など】



ボッチャ大会



車いすバスケット体験



ボッチャ講習会

管理運営経費



(1) 利用料金等収入増及び経費縮減への取組

港南スポーツセンターの第4期収支計画策定にあたっては、多様化する市民ニーズを反映した、私たちならではの付加価値のあるサービス提供により、新たな収入源を確保してまいります。その収入増加見込み分を経費の財源に充当し、指定管理料を削減します。

ア 収入増加策の実効性（増収計画）

■ 付加価値の高い新たな教室事業

私たちは、第3期指定管理において PDCA マネジメントに基づく教室運営を実践し、対前期から増収となっています。第3期指定管理で人気の高い教室を増設するほか、新たな取組として膝腰機能改善教室など付加価値の高いプログラムを増やすほか、子育て世代・働き世代などに向けたオンラインレッスンを実施し、30年度から13%増収を計画します。



■ 教室事業収入 目標 ※託児収入含む

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	54,299	54,299	54,837	54,837	55,915

■ 第4期指定管理の主な新規開設・リニューアル教室（例）

新規教室(4年度)	目標額
膝腰機能改善教室	262,000円
脱メタボ減量プログラム	327,400円
親子でHIPHOP	304,000円
リハビリ教室	262,000円
ゴスペル教室	484,000円



■ 新たなヘルスプロモーション事業による収入増

私たちが得意とするスポーツ医科学に基づくヘルスケア分野の取組により、付加価値の高いサービスを提供する、実効性の高い収入増を提案いたします。

● 指定運動療法施設としてのサービス

第3期指定管理期間に実施した内科系・外科系運動療法に加え、新たに特定保健指導ができる体制を整えることで、自主事業収入を増収させます。

